

熱中症特別警戒アラート～新規創設

近年、熱中症による救急搬送や死亡者が増加傾向にあるため、被害防止の観点から、暑さ指数(WBGT)が35以上と予想される場合に「熱中症特別警戒アラート」が都道府県単位で発表されることになりました。

(R6・6より)

発表された場合には、過去に例の無い危険な暑さとなっているので、普段の熱中症対策以上に注意する必要があります。

夏休みに登校する際は、暑さ指数(WBGT)を確認し、適切な熱中症対策が取るようにしましょう。

暑さ指数 (WBGT)	
35以上	熱中症特別警戒アラート 発表
33以上	熱中症警戒アラート 発表
31以上	危険 外出はなるべく避ける
28以上31未満	嚴重警戒 激しい運動は中止

子宮頸がんワクチン～無料接種が終了～

HPV(子宮頸がん予防)ワクチンはワクチン接種後に重篤な副反応が見られたことから、国は定期接種は積極的に勧めていませんでした。現在は個別接種を勧奨しています。

積極的勧奨の差し控えにより、接種機会を逃した者を対象に令和4年4月から各自治体で対象年齢を超えて接種する機会を設けていましたが、令和7年3月31日までで終了することになりました。接種を希望する人は早めに初回接種することをお勧めします。

【対象】	平成9年4月2日～平成21年4月1日生まれの女性
【接種回数】	合計3回(3回接種するのに6か月間かかります)
【無料接種終了日】	令和7年3月31日(初回接種は9月30日までに済ませる)
【問い合わせ先】	住んでいる市町村の担当課へ

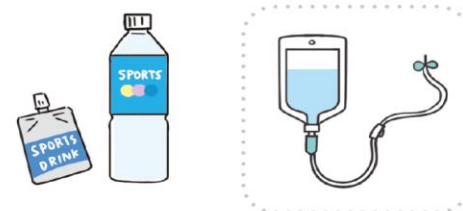
※接種するかどうかは各ご家庭の判断になります。情報をよく収集し、検討してください。厚労省や埼玉県のHPに詳細が有ります。また、有効性とリスクについては下記から見られます。

『<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/sikyukeiganrisk.html>』

熱中症の応急処置は「FIRE」!

F Fluid 液体(水分+塩分)の経口摂取

意識がある場合はスポーツドリンクなどを飲ませる(※自力で飲めない場合は、できるだけ早く医療機関に搬送して点滴を行う)



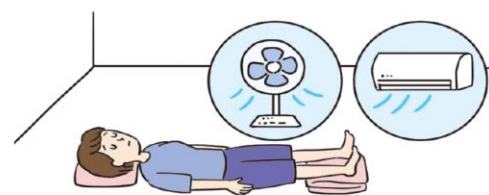
I Icing 身体の冷却

衣服をゆるめる/手や足、ほほを冷やす/水を口に含んで体に吹きつける/うちわや扇風機で風を送る



R Rest 運動の休止・涼しい場所で休む

運動や作業を止め、涼しい場所(可能であれば冷房のある部屋)で休ませる



E Emergency 「緊急事態」の認識・119番通報

119番通報(救急車の手配)/意識状態・体温のチェック/現場での状況、気温、運動の強度・時間などを救急隊員に説明

